

一般社団法人日本ベアリング工業会
技術部会 円すいころ軸受分科会

ISO 規格発行の概要
ISO 355:2019、 Rolling bearings—Tapered roller bearings
—Boundary dimensions and series designations
(転がり軸受—円すいころ軸受—主要寸法及び系列記号)

2019年5月付にて、**ISO 355(Rolling bearings—Tapered roller bearings—Boundary dimensions and series designations)**第3版が発行されましたので、その経緯と主な改正内容を紹介します。

1. 経緯

この規格は、2007年7月に第2版が発行された後、2012年2月に追補1が発行されました。2017年の5月の**ISO/TC 4**（転がり軸受）アトランタ会議にて、内容及び追加寸法を含め、改正が決議され、今回の第3版の発行に至りました。

対応する**JIS**は、**JIS B 1512-3**（転がり軸受—主要寸法—第3部：円すいころ軸受）です。

2. 改正内容

表1～2に改正内容を示します。

表1 改正内容

項目	記号	改正内容
記号の用語の変更	B ₁	“複列外向き軸受の内輪組合せ幅”から、 “複列外向き軸受の内輪組合せ幅”及び “間座付き背面組合せ軸受の内輪組合せ幅”に変更
記号の定義の変更	C ₁	“複列外輪の幅”及び“間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅”から、 “外輪フランジの幅”に変更
	C ₂	“外輪フランジの幅”から、 “複列外輪の幅”及び“間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅”に変更
図面の記号の追加と変更	α(接触角)	図1 ：記載位置の変更 図2、3 及び 4 ：新たに追加記載
	C ₁	複列外輪の幅（ 図2 ）及び 間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅（ 図3 ）から、 外輪フランジの幅（ 図4 ）に変更
	C ₂	外輪フランジの幅（ 図4 ）から、 複列外輪の幅（ 図2 ）及び 間座付き背面組合せ軸受の外輪組合せ幅（ 図3 ）に変更
図4 の内容変更		フランジ付き外輪から、外輪フランジ付き円すいころ軸受に変更
附属書A の 表A.1 及び 表A.2		C ₂ から C ₁ へ変更
参考文献の追加		ISO 10317、 Rolling bearings—Tapered roller bearings—Designation system

表 2 改正前後の図の相違

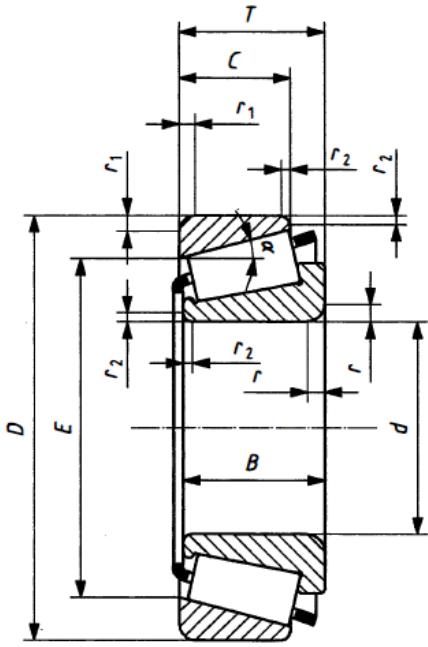
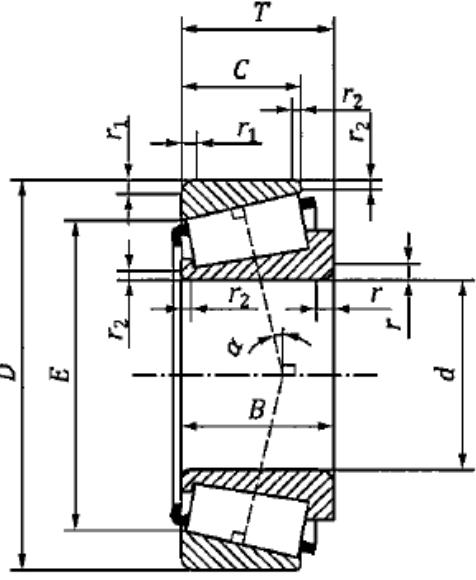
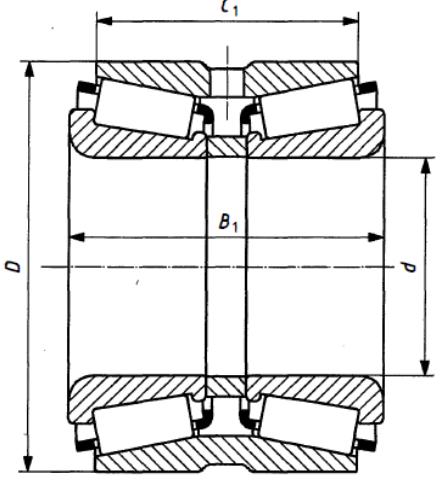
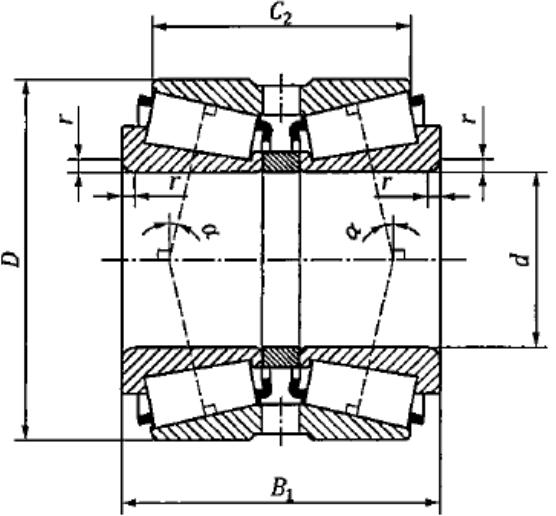
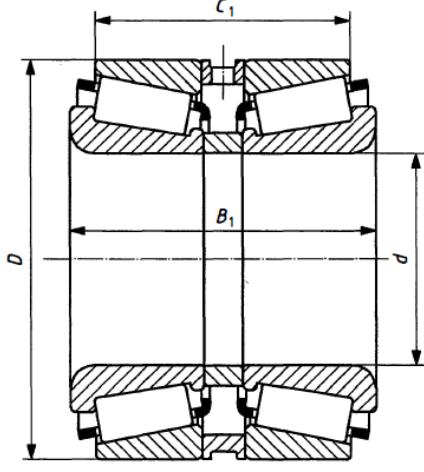
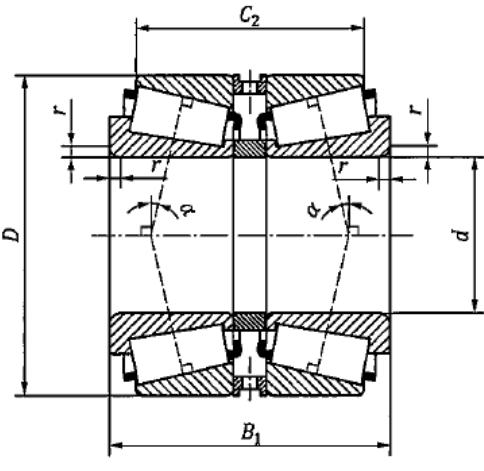
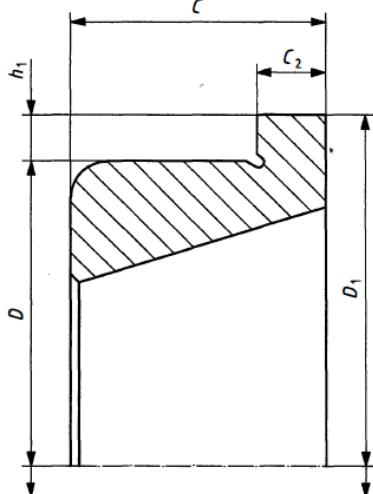
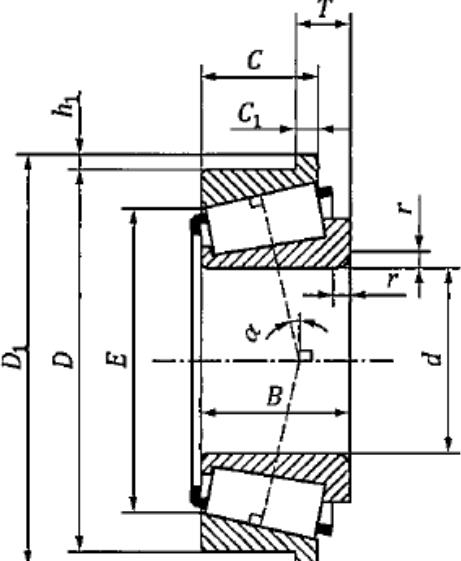
	第2版 (改正前)	第3版 (改正後)
図 1		
図 2		

表2 改正前後の図の相違（続き）

	第2版（改正前）	第3版（改正後）
図3		
図4		

以上